リーディングDXスクール事業 【実践事例】

加茂市立加茂南小学校(新潟県)

【取組内容①】ICTのメリット(即時性・保存性・可視性・簡素化)を生かした授業改善の工夫

研究主題「自分の考えをもち、かかわり合う子の育成」

~コミュニケーション力を高めるためのICT機器の活用を通して~

| 目指す 子どもの姿

を具現化するための取組、ICT機器の活用

- ・児童とともにつくる学習問題
- ・学び合いの場面
- ・学習問題と正対したまとめ

手立て (ICT活用抜粋)

- ・子どもの考えに沿った 学習問題◎の設定
- ・思考を助ける手法
- ・子どもの考えに沿い学び合いを生む教材
- ・協働的な思考を助ける 機器や道具の活用
- ・学びの履歴、振り返り

南小授業スタイルの改善と実施

時間	授業の流れ	教師の働きかけ・手だて
導入	教材と「学習課題」の提示	「問いをもたせ、追究意欲を高める
等八	(学習課題:教師のねらいで提示する課題)	・ズレや分からなさを引き出す
	「学習問題の」の焦点化	気づき、疑問→モヤモヤ感の共有
	(学習問題◎:子どもの問題意識を基に表現	・焦点化を図る。→子どものつぶやきを教師がまとめるなど。
	(字音問題) : 子ともの問題息職を基に表現され、学級で共有された問題)	・既習事項や生活経験等から、解決の方法や道筋を方向付ける。
	解決の見通しをもたせる	・ICT機器を活用して効果的に課題を提示する。
展開	自力解決・書く活動・追究	自分の考えをもたせる
		・考えをノートに書いたり、タブレット端末に表したりする。
		・ペアトークでヒントや助言をしあう中で、自分の考えを確かに
		もてるようにする。
		・Jam board や Google スライド、学習支援ソフトなどを活用し
		て、友達の意見を共有しやすくする。
		・机間指導等で児童の考えを把握する。
	集団思考	話し合いで、考えを深める
	子ども同士が タフレット端末を活用した 対話を	・根拠を示した説明を促す。(ICT 活用)
	行うことを通して、学習問題◎を解決する。	・子どもの考えを対比的に提示する。 <u>(ICT 活用)</u>
		考えの良さや、共通点や違いに気付かせる。
		考えにネーミングさせる。
		・考えを全体に広げる「問い直し」
		対話スキルを活用する。
		・子どもの気付きを板書や電子黒板で可視化する。
終末	まとめ	◎(学習問題)に正対したまとめ
	学習問題◎を解決して明らかになったこと。	・子どもの言葉を生かして、教師がまとめる。
	振り返り	自分の言葉で振り返らせる
	授業を通して成長したことや、成長に必要な	・何を学んだか、友達のどんな考えがよかったか、自分の考えがど
	ことを自覚し、次につなげようとすること。	う変わったか、など。
		・キーワードを入れる、評価問題をさせる。